

留中跡地をスポーツ広場として暫定利用

新しく『住之江グラウンド』が誕生

6月10日完成予定です

市内住之江町三丁目の旧留萌中学校跡地では、六月十日工事完了を目前に、住之江グラウンド造成工事が行われています。

同場所には、以前留萌中学校校舎がありました。が、老朽化や不慮の火災などに

より昨年十月に旧留萌高校跡地（千鳥町三丁目）に移転しました。

移転後、旧校舎を解体し撤去。その跡地を暫定的にスポーツ広場として利用し、野球場やソフトボール場、ゲートボール場を造ります。

広場は住之江グラウンドと命名。総面積は約二万九千平方メートル、総工費二千四百万円。

旧留萌中のグラウンド部分のバックネットはそのまま残して野球場に、見晴町の市営球場と同じ広さになります。

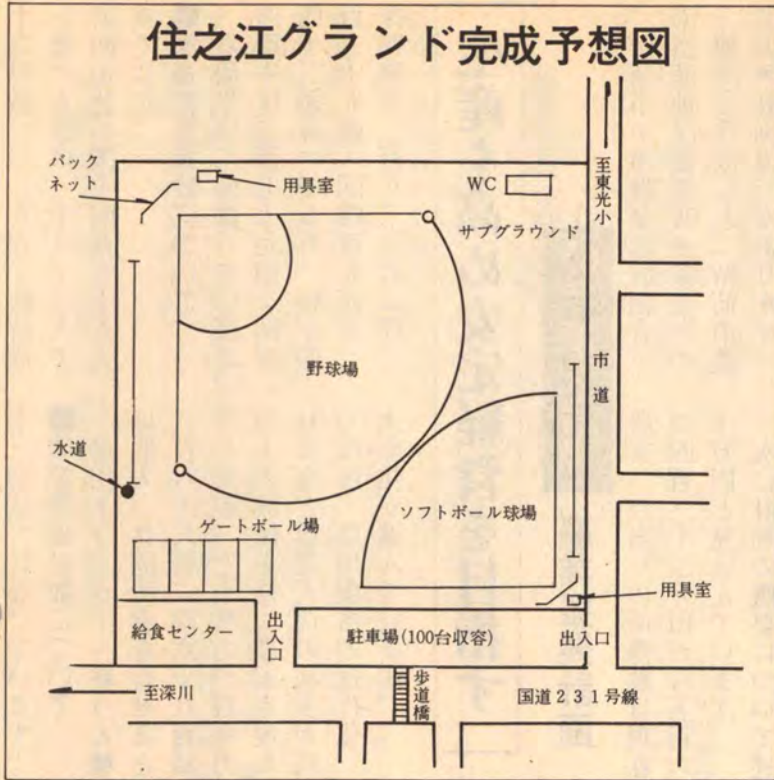
旧テニスコート部分にゲート

ボール場四面、校舎西側部分にソフトボール場をそれぞれ造ります。

付帯設備としては、防球ネット、ソフトボール場にバックネットを新設。その他、トイレ、プレハブの用具室を配置。また、車百台を収容できる駐車場も造成します。

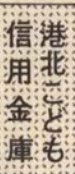
使用料は無料ですが、使用を希望する方は、市教育委員会社会体育課管理係（☎②3333）へ申し込んでいただきます。

住之江グラウンド完成予想図



全国信金協会会長表彰を受彰

全校で貯蓄活動を実践



このほど港北小学校（徳光英二校長）の留萌市港北こども信用金庫が、全国信用金庫協会会長表彰に選ばれました。

同会長表彰を受けるのは道内で一校だけ、留萌でも初めての受彰です。

また同校は、昨年十月に大蔵省、日銀主催の「優良こども銀行」中央表彰も受彰しています。

港北こども信用金庫は、五十二年五月に設立。物を大切に・無駄遣いをしないようにと始めたもので、学校教育活動の一環として運営されています。

毎月月上旬には「貯金の日」を設け、全校で貯蓄活動を実践。同校信用金庫の三月末現在の貯蓄総額は、約三百六十万円ほどになっています。

表彰式は、さる五月二十七日東京都の経団連会館で開かれた全国信用協会総会の席上で行われ、同校の名越教諭（児童会担当）と局長の笹嶋敬告くん（六年）、受付係の高松英子さん（六年）が出席しました。

ようこそ。21世紀の北海道へ。

北海道21世紀博覧会



'86-6-22 ▶ 9-15 (86日間) ●お問い合わせは 北海道21世紀博覧会事務局 岩見沢市志文町1015番地(博覧会会場内) ☎(0126)25-5210-5211(大代表)